

スポーツ庁長官賞新設（内閣府主催：日本オープンイノベーション大賞）

- 我が国のオープンイノベーションの更なる推進に向けて、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組を表彰するものとして2018年度から開始。
- 今年度よりスポーツ分野の優れた取組を表彰するため、スポーツ庁長官賞を新設。



PRIZE JAPAN OPEN INNOVATION PRIZE

日本オープンイノベーション大賞, 募集

募集期間 令和2年10月1日(木)
募集締切 令和2年10月31日(金)18時(締め切り)

対象・趣向
募集対象：国内オープンイノベーション取組の優れた事例
募集趣向：国内オープンイノベーション取組の優れた事例

応募方法
応募書類を郵送またはオンラインで提出してください。
応募書類は、申請内容に必要事項を記載し、必要書類を添付して提出してください。
応募書類は、申請内容に必要事項を記載し、必要書類を添付して提出してください。

お問い合わせ先
内閣府 政策推進部 社会政策課 オープンイノベーション推進課
〒100-8501 東京都千代田区千代田 1-1-1
電話：03-6262-2111（内線）
E-mail: oip@oip.go.jp

日本オープンイノベーション大賞（内閣府）
<http://www.oip.go.jp/info/openinnovation/prize/index.html>

内閣府

表彰一覧

内閣総理大臣賞

科学技術政策担当大臣賞

総務大臣賞

文部科学大臣賞

厚生労働大臣賞

農林水産大臣賞

経済産業大臣賞

国土交通大臣賞

環境大臣賞

スポーツ庁長官賞

日本経済団体連合会会長賞

日本学術会議会長賞

スポーツ界と経済界の人材流動性向上に向けた取組

2017・2018年度調査で明らかとなった課題

求職者から見た阻害要因

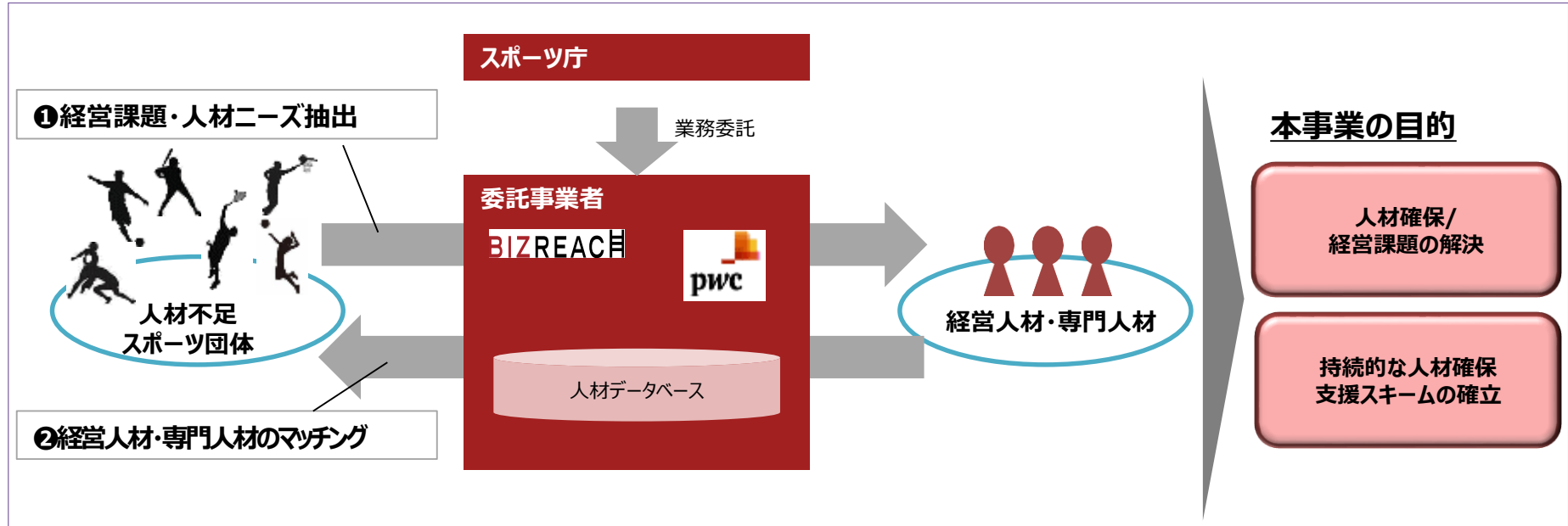
- 組織や仕事に関する情報が入手できない
- 報酬・就業条件が合わない
- アプローチの仕方が分からない 等

スポーツ団体側の課題

- 経営課題の特定ができていない
- 必要な人材の定義・見極めができない
- 使用活動にリソースを割けない 等



2019年度事業の概要



プロフェッショナル人材を公募した中央競技団体4団体

公益財団法人 日本陸上競技連盟

一昨年発表した「JAAF VISION 2017」において、ミッション、ビジョンを取りまとめて発表。これらのミッション、ビジョンを叶えるためのアクションプランを完成させ、実行に移すために、組織横断的な事業計画の立案や組織全体を統括することが必要。

応募：271名
採用：1名

企業経営に係る視点を持ち
事業計画の策定を支援する人材を
副業兼業で募集。

公益社団法人日本ホッケー協会

公益社団法人日本ホッケー協会では今年6月に新たな理念・ビジョン・スローガン、今後の10年を見据えた「Japan Hockey Road to 2030」の基本方針を発表。この基本方針に対し、具体的な中長期プランを取りまとめたい。

応募：188名
採用：2名

中長期プランとともに策定し、
課題解決を支援する人材を
副業兼業で募集。

経営人材

・
専門人材

公益社団法人 全日本空手道連盟

2020年東京五輪での成功、2024年パリ五輪での空手競技の採用に向けて、空手の認知度向上、空手の魅力の訴求を強化したい。

応募：139名
採用：3名

新たなファン層の獲得、新たなブランディング
形成、効果的な広報活動等をするための
戦略・企画立案や、メディアリレーションの構
築を支援する人材を副業兼業で募集。

公益財団法人 日本テニス協会

協会における組織基盤を整える必要がある。
特に組織体制や人事制度等、ヒトの観点から
の課題解決を図りたい。

応募：175名

組織課題の抽出、解決策としての人事企
画や人事制度の設計等を支援する人材を
副業兼業で募集。

プロフェッショナル人材を公募したプロスポーツチーム8団体①

株式会社茨城ロボッツ・スポーツ エンターテインメント

茨城県を本拠地とする、Bリーグ2部に所属する男子プロバスケットボールクラブ。

「スポーツで夢・誇り・活力を生み出し、地方創生の先駆けモデルをつくる」のミッションを掲げ、2020年のB1昇格、そして昇格から3年後に日本一となることを目標。2019年にはB2リーグの観客動員数新記録を達成し、右肩上がり成長しているが、更なる成長を目指す。

応募：230名

下記3ポジションを兼業副業で募集

- ・ マーケティング戦略アナリスト
- ・ 経営管理ストラテジスト
- ・ 人事企画ストラテジスト

株式会社VOREAS

旭川市を本拠地とする、Vリーグ2部に所属する男子プロバレーボールクラブ。

「スポーツを文化に、そして喜びを」というビジョンのもと、クラブチームとその地域の人たちが一体となってホームタウンである旭川市を中心とした北海道経済の活性化、教育等の地域課題の解決を目指す。

応募：178名

下記2ポジションを兼業副業で募集

- ・ 共同事業を企画・推進するアクティベーション企画マネージャー
- ・ 社長を起点とした組織開発を推進するコーチングマネージャー

経営人材
・
専門人材

株式会社サガン・ドリームス

鳥栖市を本拠地とする、J1に所属する男子プロサッカークラブ。

J1昇格以降一度もJ2の降格経験がない唯一のクラブでもあり、鳥栖市の人口は7万人強と、ホームタウンとしてはJリーグ全55クラブのなかで最も小さいサイズであり、マーケットも限られてくるなかでも、売り上げを約6倍まで急拡大。更なる事業を拡大を目指す。

応募：274名

下記2ポジションを兼業副業で募集

- ・ 営業戦略マネージャー
- ・ デジタルマーケティングディレクター

株式会社ジャパン・ベースボール・ マーケティング

ルートインBCリーグは、2007年4月から開幕したプロ野球の独立リーグ。

「野球を通じて、地域と共に、地域を豊かに」というミッションを掲げ、13年間にわたって地域スポーツの振興、人材育成を着実に進めてきており、4球団で始まったリーグは2020年シーズンを12球団で迎える。地域の人口減少が続くなかで、これから先の独立リーグを支える持続可能な新しいモデルを構築する必要がある。

応募：321名

下記2ポジションを兼業副業で募集

- ・ 事業戦略ディレクター
- ・ ガバナンス戦略マネージャー

プロフェッショナル人材を公募したプロスポーツチーム8団体②

株式会社栃木ユナイテッド

栃木県を本拠地とする、国内のアイスホッケーチームとして最古の歴史を持ち、かつ国内唯一の男子プロアイスホッケークラブ。

約90年の歴史のなか、不況や企業スポーツの危機、ウィンタースポーツの相対的なマイナー化といった逆風にさらされている中、近隣県やその他エリアからの集客増加を目指し、ファンやクラブ会員、スポンサー獲得を目指す。

応募：151名

下記2ポジションを兼業副業で募集。

- ・ 集客戦略プランナー
- ・ 顧客データアナリスト

株式会社新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ

新潟県を本拠地とする、ルートインBCリーグの男子野球クラブ。

経営理念である「ふるさとのプロ野球による地方創生」の下、新潟県内各地でのホームゲームや野球塾・野球教室の開催等を通じて、新潟県の地域活性化、新潟県への地域貢献を実施。

NPBの新規参入の可能性を追求し、「創造的破壊」を起こすための事業展開を加速していく必要がある。

応募：148名

下記1ポジションを兼業副業で募集

- ・ 経営戦略ディレクター

経営人材
・
専門人材

株式会社VC長野 クリエイティブスポーツ

長野県を本拠地とする、V1リーグに所属する男子バレーボールクラブ。

興業として成り立たせるためにも、トップカテゴリーとして戦う力を養うという意味でもまだまだ課題はあるが、今後20年、30年と長生きするクラブを築いていけるよう、サポーターとのつながりをより強く、太く、地域への貢献度を高め、皆様から地域ブランドの向上を図りたい。

応募：79名

下記1ポジションを兼業副業で募集

- ・ PRディレクター

株式会社松本山雅

長野県を本拠地とする、J1リーグに所属する男子プロサッカークラブ。

「人々の郷土愛に支えられた地域発展」というミッションを掲げ、「まちづくり」を考えるうえで、地域におけるスポーツの位置づけは非常に重要であると考えており、地域に密着したクラブ運営を実施。ホームタウン活動の一環で、地域を盛り上げるための新規事業の計画を図りたい。

応募：246名

下記1ポジションを兼業副業で募集

- ・ 新規事業企画プランナー

日本国内で進むスポーツをイノベーションのハブとする動き

地方公共団体主導

埼玉県：
イノベーションリーダーズ育成プログラム



(出典：埼玉県)

大阪市：
舞洲プロジェクト



(出典：大阪市)

仙台市：
エンターテックアイデアソン



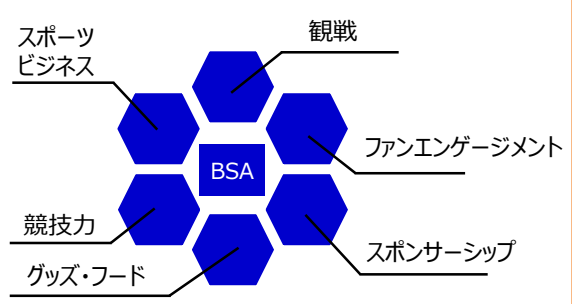
(出典：仙台市)

スポーツ団体主導

Jリーグ：
社会連携プラットフォーム構想



横浜DeNAベイスターズ：
BAYSTARS Sports Accelerator



(出典：横浜DeNAベイスターズ)

民間企業主導

中部ニュービジネス協議会等：
名古屋グランパス×スタートアップピッチ



(出典：中部ニュービジネス協議会)

株式会社電通：
SPORTS TECH TOKYO



(出典：株式会社電通)

今後の取組の方向性（案）

1. 中央競技団体を核としたSOIPプロジェクトの継続的实施
2. 先進事例の認知度向上及び事業化推進に資するコンテストの開催
3. 地域版SOIPの構築及び広域連携の促進

SOIP (Sports Open Innovation Platform)

SOIN (ネットワーキング)



年2回程度開催
(機運醸成)

アクセラレーション



年1回程度開催
(新事業創出支援)

コンテスト



年1回程度開催
(事業拡大支援)

スポーツが変える、未来を創る。

Enjoy Sports, Enjoy Life

